

【 JAWS-UG Sales #4 】

# 印象的なスライドで振り返る re:Invent2025におけるAWSの戦略

---

2025年12月16日

SCSK株式会社 木澤 朋隆



**JAWS-UG**  
AWS User Group - Japan

## ■ 自己紹介



名前 : 木澤 朋隆 (きざわ ともたか)

所属 : SCSK株式会社

主な表彰:

AWS Ambassador (2021~)

Japan AWS Top Engineer (2022~)

Japan AWS All Certifications Engineer (2022~)

AWS Community Builder (2023~)



第4740号<sup>®</sup>

# ■ 私、実は マーケティング/プロモーションロール です



**JAWS-UG**  
AWS User Group - Japan

- 2020年よりAWS部署に異動、2022年よりマーケティング/プロモーション専任
- AWS Summit Japanの出展リーダー担当 (2024,2025)



# AI革命 進行中

---



# ■ AIを制する者が覇権を握る？



- 30年前には IT革命(インターネット革命) ~ ITバブルが発生
- 現在のIT覇権を握る企業は、概ねその頃に創業

**amazon** 1994創業

**Google** 1998創業

**Rakuten** 1997創業

- 今後数十年の覇権を握る企業が現われる？(と、投資家が思って投機マネーが・・・)

# ■ AIにおける業界構造



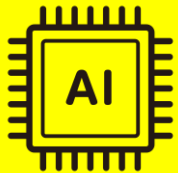
開発者(ビルダー)



AIモデル提供ベンダー  
(Anthropic等)



クラウド基盤  
(AWS等)



半導体チップメーカー  
(nVIDIA等)

チップメーカー(nVIDIA)に  
富(利益)が集中する歪な構造



# ■ データセンターは電力確保の争奪戦



- AI利用の増加に伴い、2030年までにデータセンターの電力需要が2倍になると推定されている
- 米国では電力確保のため、原発の新設も続く

## Gartner、データセンターの電力需要は2025年に16%増加し、2030年までに2倍になるとの予測を発表

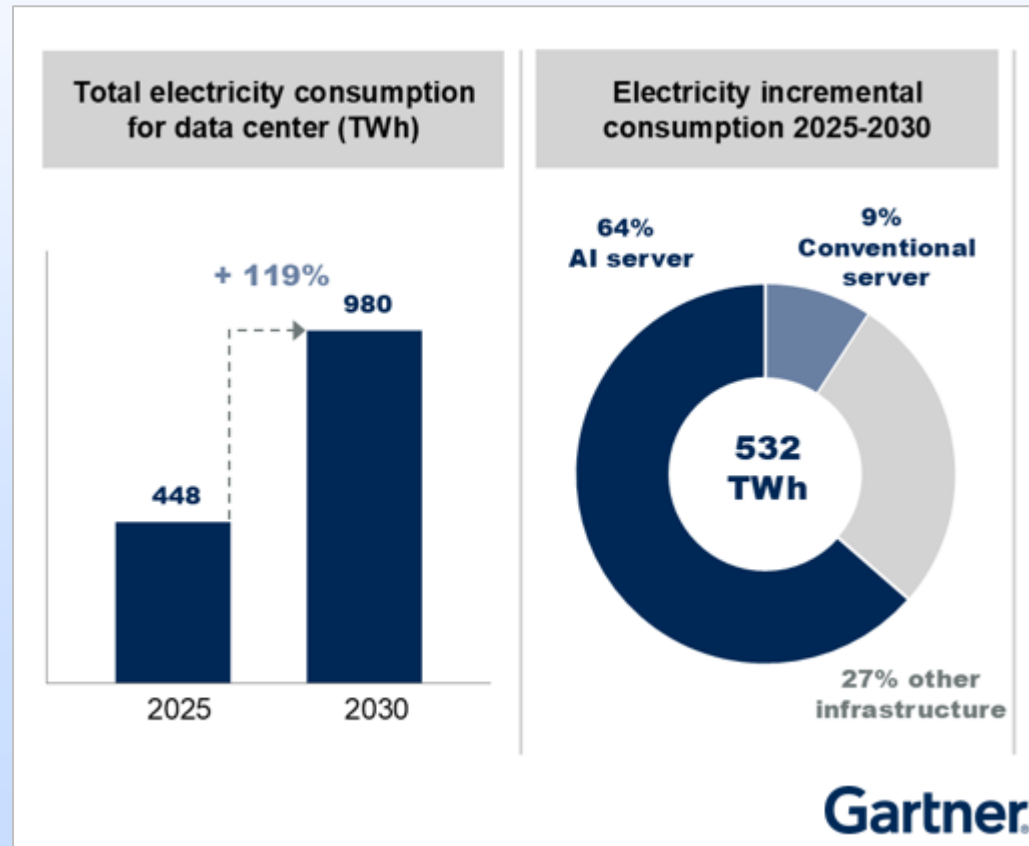
- データセンターの電力消費量は2025年の448テラワット時 (TWh) から2030年には980TWhに増加
- 2030年までに、AI最適化サーバーの導入がデータセンターの電力消費の44%を占める見込み

ビジネスおよびテクノロジーのインサイトを提供する企業であるGartner, Inc.は、世界のデータセンターの電力需要は2025年に16%増加し、2030年までに2倍になるとの見通しを発表しました。

Gartnerのアナリストは、世界のデータセンターの電力消費量が2025年の448テラワット時(TWh) から2030年には980TWhに増加すると予測しています。

リサーチ ディレクターのリンラン・ワン (Linglan Wang) は次のように述べています。「従来型サーバーや周辺インフラストラクチャもデータセンター全体の電力消費に寄与していますが、AI最適化サーバーの急速な普及がデータセンターの電力消費の増大を加速させています。AI最適化サーバーの電力消費は、2025年の93TWhから2030年には432TWhへと、ほぼ5倍に増加する見込みです」

2025年には、AI最適化サーバーがデータセンター全体の電力使用量の21%を占め、2030年には44%に達すると予測されています。2030年には、データセンターの追加電力需要の64%をAI最適化サーバーが占めることになります (図1参照)。



# AWSが提供するAIインフラのアップデート

---



# ■ AWS自社開発のAIインフラ

- 初の3nmプロセスである、Trainium3プロセッサ  
またそれを144基搭載した、EC2 Trn3 UltraServersを発表



# ■ 本発表から読み解くAWSの戦略

- Trainium3プロセッサ ⇒ Trainium2と比較し、性能2倍、電力効率4倍。推論にも利用可能
- Trn3 UltraServers ⇒ メガワットあたりのトークン数5倍

## ポイント①

自社チップを開発していること

安全保障の観点(nVIDIA社に生殺与奪の権を握らせない)

## ポイント②

AWSが提供するAIハードウェアの推しは「コスパ」

データセンター/電力の逼迫が予想される中では現実解  
ASICベースなので元々電力効率は高い



- AWSは 大手AIモデルベンダーの基盤として利用されている + 一般開発者へのメッセージにも

# AIエージェントのエコシステム拡大

---

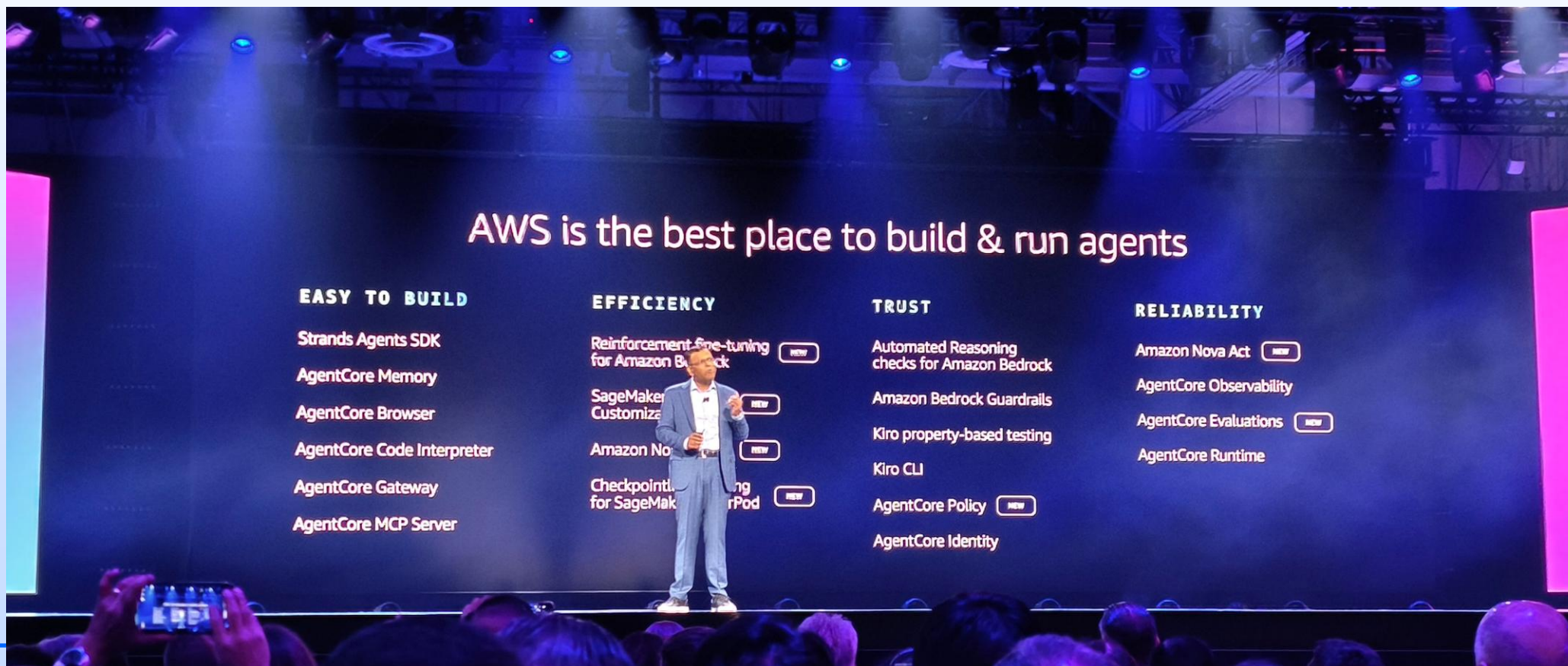


# ■ Amazon Bedrock AgentCoreのサービス拡充



**JAWS-UG**  
AWS User Group - Japan

- 現在AWSのイチオシサービスと言って差し支えない。  
今年7月の発表、10月のGA以降、急激に利用拡大が進んでいる。
- AIエージェントを開発し、動かす最適な基盤であるとAWSは宣言している。



# ■ AIエージェント関連の主なアップデート

---

詳細は割愛...

## ■ AIエージェントの統制

- ◆ Policy in Amazon Bedrock AgentCore
- ◆ Amazon Bedrock AgentCore – Evaluations

## ■ Frontier Agent群

- ◆ Kiro Autonomous Agent
- ◆ AWS Security Agent
- ◆ AWS DevOps Agent



# ■ ワークショップに AIエージェント活用ユースケースが多数

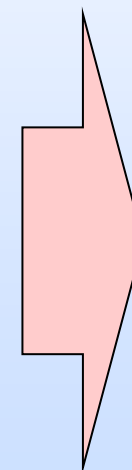
- ワークショップにて、AIエージェント活用ユースケースが多数
- 私が参加した AIエージェント関連ワークショップからピックアップ

## [COP403-R] AIエージェントによるクラウド運用の自動化

障害時の一時切り分け、AIによる障害原因の分析、復旧まで  
全てAIエージェント経由でやってもらう


## [PEX315] AWS AI を活用したインシデント対応による インテリジェントなセキュリティ運用

自然言語を使ってAIエージェントに「重要な発見を教えて」  
「どう解決できるか」を指示する。  
「解決してください」と指示すると、エージェントが問題を解決する。  
SecurityHubのデータを取得して、リアルタイムに回答



具体的な  
運用改善に  
つながる  
アイデア

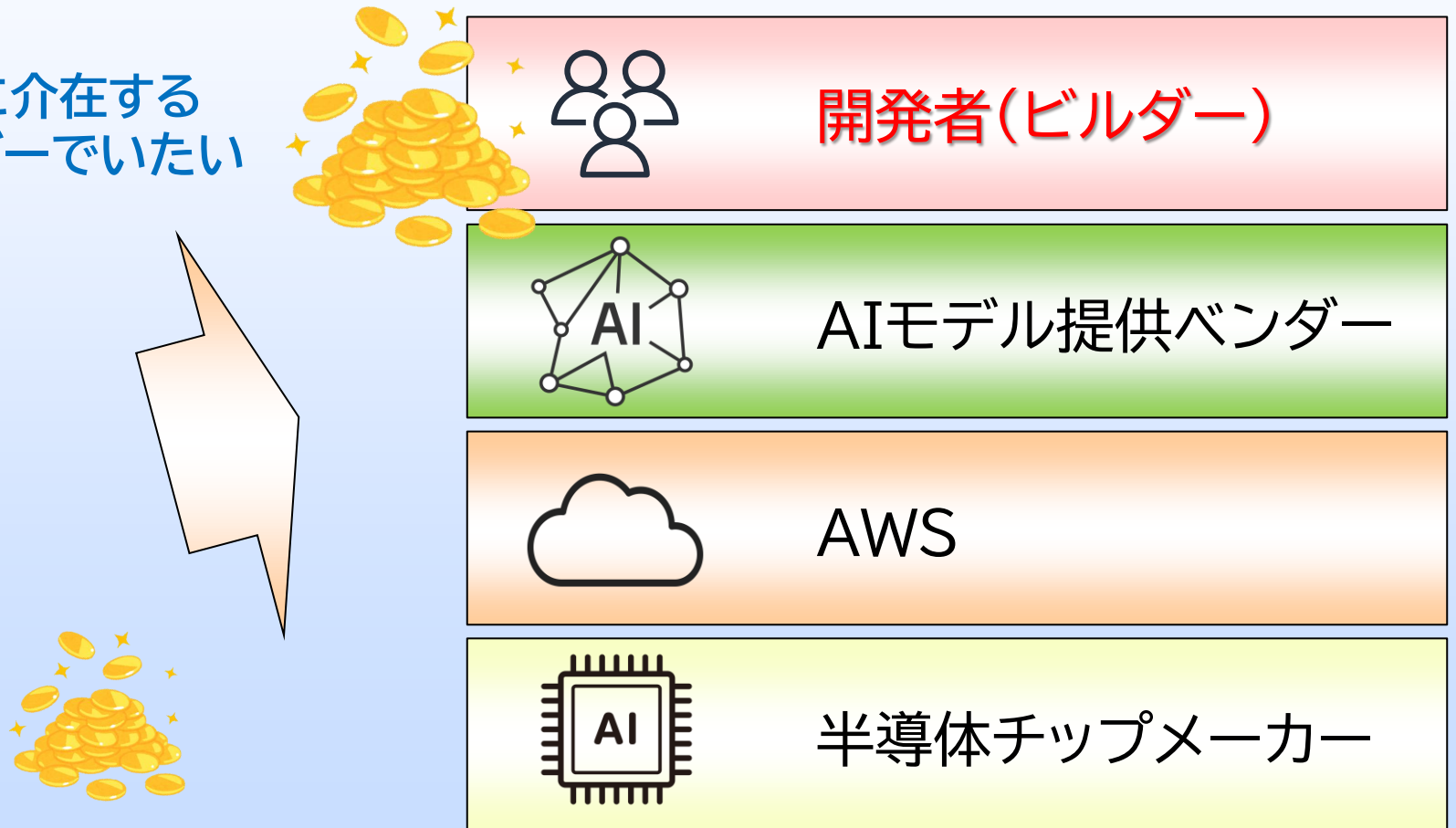
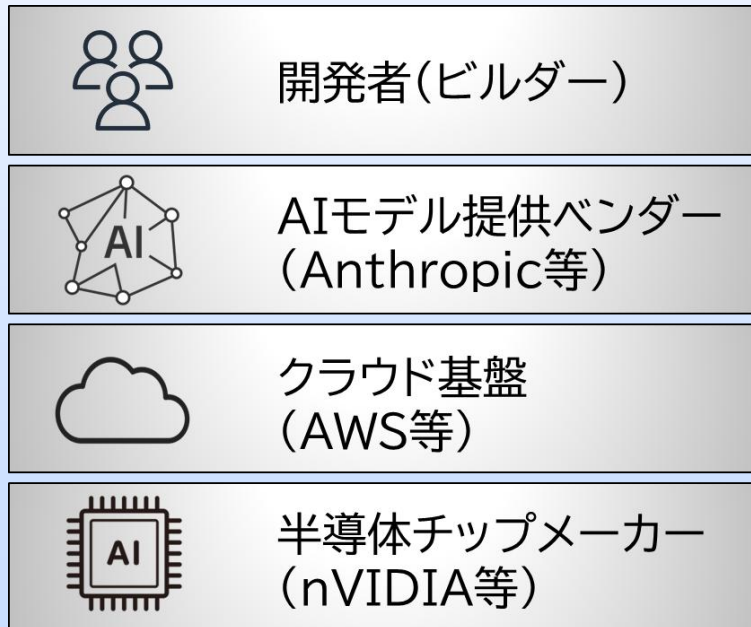
まとめ



# ■ AWSが考えるエコシステム(私の理解)

- 「コスパの良い」インフラ基盤の提供 と 「使い勝手の良い」AIエージェント周辺サービスの拡充 で
- 歪な業界構造を逆転させて**ビルダーが儲かる世界を作りたい！**

そして**AWSはエコシステムに介在すること**で引き続き業界のリーダーでいたい



■ ありがとうございました！

---

- 来年も機会あれば re:Invent に参加したいですね！
- 今後ともよろしくお願いします。

